

令和7年度 デジタル・ICT戦略

目黒区では令和4年4月に「DXビジョン」を策定しました。

目黒区のDXの取組は、デジタル技術を上手に活用して

- ① 生活をもっと便利にし、
- ② もっと親切・丁寧な区民サービスを提供し、
- ③ だれもがもっと安全・安心に暮らせるまちづくりを実現する

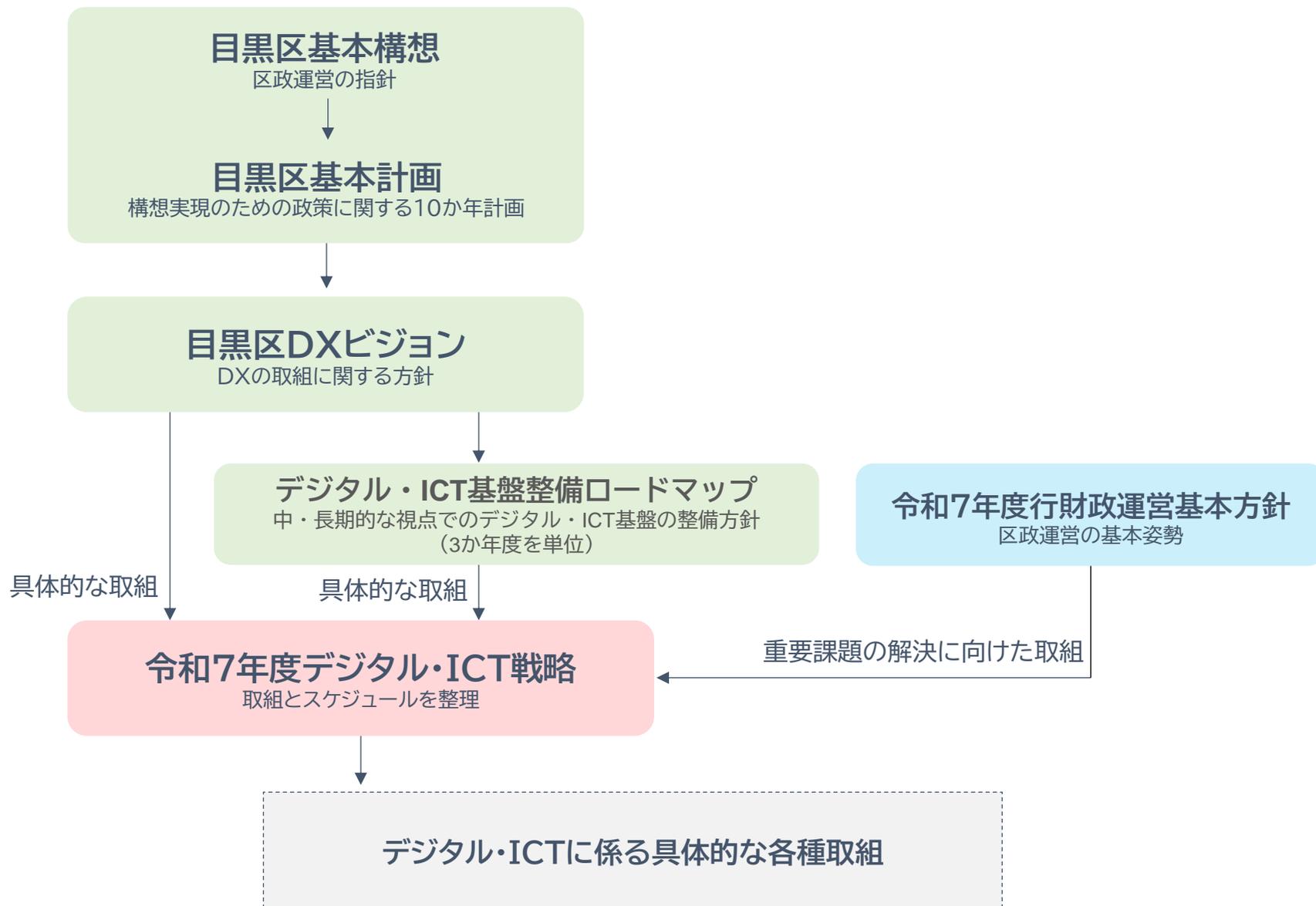
ためのもので、これにより基本構想に定めるまちの将来像

「さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ」

の実現を目指すこととしています。

令和7年度のデジタル・ICT戦略では、
令和6年度の実績を基に、区の抱える課題やとりまく環境を踏まえ、
あらためてその内容を精査し、
令和7年度における取組とスケジュールを整理しました。
引き続きDXを加速させる取組を展開していきます。

デジタル・ICT戦略の位置づけ



令和7年度デジタル・ICT戦略の背景

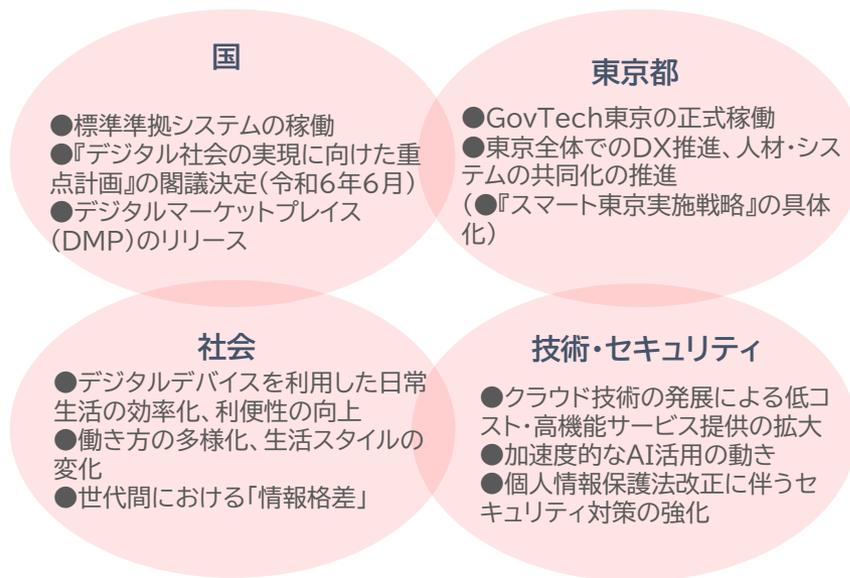
目黒区の現状(令和6年度実績)

方針	DXビジョン ①生活をもっと便利にし、 ②もっと親切・丁寧な区民サービスを提供し、 ③だれもがもっと安全・安心に暮らせるまちづくりを実現する
取組成果	●オンラインサービスの拡充 …行政手続のオンライン化率70%以上、デジタル区役所の開始 ●デジタル化推進のための人材育成 …DX推進リーダー育成プログラムの構築・実施 ●業務の生産性を向上させる働き方の見直し …コラボレーションツールの導入 ●ITリスクをさらに低減するための仕組みの構築 …内部・外部監査実施率65%以上、情報資産台帳の策定
課題	●フロントヤード改革の推進 ●デジタル化推進のための人材育成 ●業務の生産性を向上させる働き方の見直し ●ITガバナンスの確立

目黒区の令和7年度重要課題

システム標準化への取り組みとDXの推進
(令和7年目黒区長所信表明より)

目黒区をとりまく環境



令和7年度に向けて

- 令和4年度に策定したDXビジョンを実現するため、新たなサービスの導入や環境整備に加え、DXを推進する人材育成プログラムの実施などを進め、一定の成果を上げてきた。
- 一方、区民生活の利便性向上と業務の生産性向上を実現するためには、社会の動向や技術・セキュリティの進展を注視しつつ、目黒区の現状を把握・分析し、これまで以上に区の実態に沿った戦略的な展開が必要である。



業務効率化による事務負担軽減を図りながら区政の変革に取り組み、さらなる区民サービスの向上を実現する！

令和7年度デジタル・ICT戦略の全体像

Mission(目的・使命)

デジタル・ICT戦略の
取組目的

目黒区DXビジョンに基づき、生活を「もっと便利に!」、区民サービスを「もっと親切・丁寧!」、暮らしを「もっと安全・安心に!」するため、デジタル技術・ITを上手に活用し、目黒区基本構想に定めるまちの将来像「さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ」を実現する。

Vision(目指す姿)

令和7年度末の
ありたい姿

DXビジョン実現に向け、デジタル技術を活用した新たな区民サービスの創出や庁内の業務改革を始め、情報発信力の強化、データ利活用の推進によって、行政サービス改革が加速している。加えて、ITガバナンスの強化・充実のもと、安全・安心へと繋がる区民生活の「もっとよく」を実現している。

Value(行動指針)

ありたい姿を実現するための
4つの戦略テーマと
13の重点取組

戦略テーマ①

デジタル技術・データの活用
による利便性を実感できる
サービスや機会の提供

戦略テーマ②

デジタル技術を活用した
業務改革による業務効率化・
生産性向上

戦略テーマ③

デジタル・ICT活用を支える
環境・基盤の拡充

戦略テーマ④

区政の変革を支える
ガバナンスと組織力の
強化

令和7年度デジタル・ICT戦略 13の重点取組

戦略テーマ	重点取組			
<p>①</p> <p>デジタル技術・データの活用による利便性を 実感できるサービスや 機会の提供</p>	<p>1. 行政手続オンライン化の利 用促進と対象手続の拡大</p> <p>24時間365日申請可能な行政手続を増やすとともに、オンライン申請の利用率を高め、行政手続の利便性向上を図る。</p>	<p>2. 区民等の多様なステークホルダーのニーズに合った情報・行政サービスの提供</p> <p>各デジタルメディアと得られたデータを活用して、ニーズに合った情報発信力を高めるとともに、スマートフォンを活用した手続案内サービスなどの行政サービスを充実させ、必要な情報に手軽にアクセスできるように利便性を向上させる。</p>	<p>3. 高齢者等への生活を豊かにするデジタル活用機会の提供</p> <p>高齢者等へのデジタルデバイド(情報格差)対策を継続して実施し、引き続き生活の質(QOL:クオリティ・オブ・ライフ)向上に取り組む。</p>	<p>4. オープンデータの利活用の拡大</p> <p>区が保有するさまざまなデータを区民・事業者が利用できるよう公開内容の拡充を進めるとともに、庁内でも各部署間での連携を図りながら国や他自治体が保有するオープンデータの利活用を進める。</p>
<p>②</p> <p>デジタル技術を活用した 業務改革による業務効率化・ 生産性向上</p>	<p>5. 生産性向上を目指した業務プロセス改革の推進</p> <p>行政手続のオンライン化をはじめとする窓口業務の改善を目指したフロントヤード改革の推進、並びに情報システムの標準化への移行に伴う区民サービスの維持・向上を図るため、これらを支えるバックヤード等庁内の業務プロセスの見直しを進める。</p>	<p>6. デジタル技術の活用によるワークスタイルシフトの推進</p> <p>デジタル技術を活用して職員がより柔軟に働ける環境を整備し、職員の従来の働き方を見直して新しい働き方へとシフトすることで、更なる業務の効率化や生産性の向上を図る。</p>		
<p>③</p> <p>デジタル・ICT活用を支える 環境・基盤の拡充</p>	<p>7. 地方公共団体情報システムの標準化の着実な推進</p> <p>国が進める全国地方公共団体の統一的な基準に適合する情報システムを利用することで、区民の利便性向上と行財政運営の効率化を図る。</p>	<p>8. 働きやすい職場と柔軟な行政サービスを支える環境の整備・拡充</p> <p>デジタル技術の活用により、安定性が高く効率的なシステム環境の整備を拡充するとともに、柔軟な行政サービスを可能とするシステム環境の整備を進める。</p>	<p>9. 区民サービス向上や業務改善を自走できる環境の整備</p> <p>ノーコード・ローコードツールの導入により、業務効率化やシステム構築経費等の削減を目指す。</p>	
<p>④</p> <p>区政の変革を支える ガバナンスと組織力の強化</p>	<p>10. DX推進体制の強化とデジタル・ICT人材育成の実施</p> <p>行政のあらゆる分野でDX推進に取り組む体制を整備することを目指し、研修と実践を通じて各所属におけるDXを推進するキーマン(DX推進リーダー)を増やしていく。</p>	<p>11. システムライフサイクルを踏まえたITガバナンス体制の強化</p> <p>区が所有する情報資産を一元管理することで、全庁におけるシステム構成やセキュリティを確保し、システム導入から運用・廃棄までの全体最適化を図る。</p>	<p>12. AIをはじめとする新技術の探索・活用</p> <p>日進月歩で進化するAIをはじめとしたデジタル技術について、探索・調査研究を進め、実証実験を経て業務で活用する。</p>	<p>13. DXビジョン実現のためのマネジメント定着</p> <p>DXビジョン実現に向けて各所属が作成したDXビジョン実行プランの中から、影響度の大きい重点施策を抽出し、全庁的な目標達成フォロー(PDCA)の仕組みにのせ、施策実行度を高めていく。</p>

重点取組	1. 行政手続オンライン化の利用促進と対象手続の拡大	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿①:時間や場所に関係なく、いつでも・どこでも、区の手続や相談ができます。	
実施の概要	24時間365日申請可能な行政手続を増やすとともに、オンライン申請の利用率を高め、行政手続の利便性向上を図る。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続のオンライン化率(※1):75%以上 オンライン申請利用促進策の目標達成率(※2):70%以上 ※1:区における年間総申請件数の内、オンラインで申請が可能な手続き件数の割合 ※2:申請手続き単位で、オンライン申請比率を高める施策を行う目標の達成(件数)割合			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> オンライン化対象業務の抽出・選定 順次オンライン化 オンライン申請利用率向上の取組 	 オンライン申請利用率の把握	 利用率向上の具体策の検討	 一部の手続に具体策の着手	 効果検証

重点取組	2. 区民等の多様なステークホルダーのニーズに合った情報・行政サービスの提供	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿①:時間や場所に関係なく、いつでも・どこでも、区の手続や相談ができます。 めざす姿③:一人一人に合った情報やサービスを自動的に受け取ることができます。	
実施の概要	各デジタルメディアとそれらによって得られたデータを活用して、ニーズに合った情報発信力を高めるとともに、スマートフォンを活用した情報受信の仕組みの理解度を進め、必要な情報に手軽にアクセスできるように利便性を向上させる。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 区政情報モニターを活用した公式デジタルメディアの周知:7回 目黒デジタルアーカイブ100への資料登録件数:1,250件 LINE友だち登録者の(必要)情報受信設定者の割合:30%以上 デジタルサービス利用者の満足度向上:75%以上(LINE利用者満足度) ※「目黒区LINE公式アカウント」によるアンケート調査を実施予定			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
<ul style="list-style-type: none"> 公式デジタルメディア周知 目黒デジタルアーカイブ100の周知 目黒デジタルアーカイブへの電子化資料登録 LINE友だち登録状況の確認 現状分析と施策の検討 LINE・手続案内サービス・チャットボットの周知・啓発 	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	作業手順の検討	資料内容の確認	登録作業	

重点取組	3. 高齢者等の生活を豊かにするデジタル活用機会の提供	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑨:だれ一人取り残されない、みんなが暮らしやすい目黒区になります。	
実施の概要	高齢者等へのデジタルデバインド(情報格差)対策を継続して実施し、引き続き生活の質(QOL:クオリティ・オブ・ライフ)向上に取り組む。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果満足度:相談会90%、教室80% 高齢者以外の対象者に関するスマホ活用講座の試行:3件以上 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> デジタルデバインド対策事業の準備 デジタルデバインド対策事業の実施 				

重点取組	4. オープンデータの利活用の拡大	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑤:区が持っているデータを手軽に活用することができます。	
実施の概要	区が保有するさまざまなデータを区民・事業者が利用できるよう公開内容の拡充を進めるとともに、庁内でも各部署間での連携を図りながら国や他自治体が保有するオープンデータの利活用を進める。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータの新規公開数:5種類、50データ データ利活用案件の実施数:5件以上 専門人材のデータ可視化等のノウハウを共有し、活用できる職員数(データ利活用等の研修プログラムを受講した職員):10人 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> 職員向けオープンデータ研修の実施 自治体標準オープンデータセットへの対応 オープンデータの新規公開 				

重点取組	5. 生産性向上を目指した業務プロセス改革の推進	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿②:窓口での手続は、1か所で、短時間に完了できます。 めざす姿③:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	行政手続のオンライン化をはじめとする窓口業務の改善を目指したフロントヤード改革※1の推進、並びに情報システムの標準化への移行に伴う区民サービスの維持・向上を図るため、これらを支えるバックヤード※2等庁内の業務プロセスの見直しを進める。 ※1 区民が直接関わる窓口業務やサービス提供の場を指し、これらをデジタル技術で改善すること。 ※2 区民が直接関わるのが少ない行政内部における業務のこと。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 各課との協働取組案件の達成率:100% 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> 協働取組案件の選定・決定 実行計画の策定 協働取組実行 				

重点取組	6. デジタル技術の活用によるワークスタイルシフトの推進	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿③:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	デジタル技術を活用して職員がより柔軟に働ける環境を整備し、新しい働き方へとシフトすることで、更なる業務の効率化や生産性の向上が図られている。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリンター印刷枚数年間削減率:15%減 ・ オンライン会議機器の効率化による作業時間削減:全庁2,000分 ・ Microsoft365を使った事務処理時間の削減:全庁3,200分 ・ 庁外業務におけるモバイルワーク実現数:2件以上※ <small>※庁外業務において、紙からデジタルベースへワークスタイル変更を目指す業務の実現数</small>			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
ペーパーレス推進 ・複合機の更改 ・ペーパーレス推進のための環境整備・意識改革 Microsoft365の活用 ・職員勉強会の実施(技・ノウハウの形式知化) ・事務処理時間の削減の取組 モバイルワークの取組実行				
				
				
				

重点取組	7. 地方公共団体情報システムの標準化の着実な推進	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑧:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	国が進める全国地方公共団体の統一的な基準に適合する情報システムを利用することで、区民の利便性向上と行財政運営の効率化を図る。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度切替予定の対象業務の移行完了 基幹系システムの本番切替後の安定稼働(本番切替前後の端境期における障害インシデントレベル4※以上の発生:0件) 令和7年度のステップ完了率:95.0%達成 (参考)令和6年度:完了率85.0% ※区民等に著しい被害をもたらすおそれが高い、または業務に著しく支障を来すおそれが高い事象			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
基幹系新システム 研修 移行リハーサル 運用テスト 切替リハーサル 端境期対応 過渡期連携対応の検討・実施				

重点取組	8. 働きやすい職場と柔軟な行政サービスを支える環境の整備・拡充	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑧:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	デジタル技術の活用により、安定性が高く効率的なシステム環境の整備を拡充するとともに、柔軟な行政サービスを可能とするシステム環境の整備を進める。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 2in1LTEイントラネット端末設置完了率:77%、2in1LTEイントラネット端末利活用事例:4事例 イントラネット端末外部モニター設置対象数完了率:50% Teams電話の活用による試行導入所管課(企画経営部等)の内線電話の係電話使用削減率:75%以上 統合型地理情報システムの活用事務:5事務以上 障害発生時の迅速な復旧(業務時間内4時間以内、業務時間外24時間以内)の実現 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> イントラネット端末・外部モニター等の環境整備 地理情報システムの導入・稼働 無線LAN環境の整備及び集約されたインターネット環境の構築 			→	
				→
				→

重点取組	9. 区民サービス向上や業務改善を自走できる環境の整備	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑧職員の働き方や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	ノーコード・ローコードツールの導入により、業務効率化やシステム構築経費等の削減を目指す。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> • アプリ利用数:10課20アプリ • 業務処理削減時間(データ入力削減時間): 1アプリあたり年12時間(全体240時間) • アプリ利用職員の育成:年間15人以上 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> • ツール導入・構築 • ツール作成・運用開始 • 研修・各課支援 • 好事例抽出・利用者への横展開 				

重点取組	10. DX推進体制の強化とデジタル・ICT人財育成の実施	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑧:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	行政のあらゆる分野でDX推進に取り組む体制を整備することを目指し、研修と実践を通じて各所属におけるDXを推進するキーマン(DX推進リーダー)を増やしていく。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> • 各種のデジタル人材研修を通じて育成したDX推進リーダーを各課に1名以上配置している。 • DX推進リーダーを中心とした業務改善の実績:5件以上 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
<ul style="list-style-type: none"> • デジタル人材育成研修の実施 • 自所属での業務改善実践 	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
				

重点取組	11. システムライフサイクルを踏まえたITガバナンス体制の強化	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑨:だれ一人取り残されない、みんなが暮らしやすい目黒区になります。	
実施の概要	区が所有する情報資産を一元管理することで、全庁におけるシステム構成やセキュリティを確保し、システム導入から運用・廃棄までの全体最適化を図る。			
目標・指標(KPI)	<ul style="list-style-type: none"> システム調達支援の発注・計画調達支援(試行支援):5件 セキュリティ研修受講率95%超(参考:令和6年度受講率91%)と内部・外部監査や事故事例を踏まえたセキュリティ事例共有の実施:1回以上 			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
システム調達支援 ・企画書作成支援 ・調達実施支援 情報資産台帳 ・システム費用把握方法の検討 セキュリティ ・研修実施準備・実施 ・監査・監査事後確認				

重点取組	12. AIをはじめとする新技術の探索、活用	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿⑧:職員の働き方改革や業務改革などを通じ、より区民に寄り添ったサービスを行います。	
実施の概要	日進月歩で進化するAIをはじめとしたデジタル技術について、探索・調査研究を進め、実証実験を経て業務で活用する。			
目標・指標(KPI)	新たなデジタル技術の提案実施件数:3件以上			
具体的な個別施策(主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
<ul style="list-style-type: none"> 生成AIツール及び機能の活用方針 新たなデジタル技術探索・試行 	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	<p>The Gantt chart illustrates the following activities and their timelines:</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ツールにおける機能整理、検証チーム設立、検証実施: A long arrow starting at the beginning of the 4~6 month period and extending through the 7~9 month period, ending with a black dot in the 1~3 month period. 方針決定: A black dot located at the start of the 1~3 month period. 課題把握: An arrow starting at the beginning of the 4~6 month period and ending at the end of the 4~6 month period. 所管ヒアリング: An arrow starting at the beginning of the 7~9 month period and ending at the end of the 7~9 month period. 探索・調査研究: An arrow starting at the beginning of the 4~6 month period and extending through the 7~9 month period, ending at the end of the 7~9 month period. 実証実験: An arrow starting at the beginning of the 7~9 month period and extending through the 10~12 month period, ending at the end of the 10~12 month period. 			

重点取組	13. DXビジョン実現のための全庁マネジメントの定着	DXビジョンにおける「めざす姿」	めざす姿①～⑨	
実施の概要	DXビジョン実現に向けて各所属が作成したDXビジョン実行プランの中から、影響度の大きい重点施策を抽出し、全庁的な目標達成フォロー（PDCA）の仕組みにのせ、施策実行度を高めていく。			
目標・指標(KPI)	重点施策の達成率:80%以上			
具体的な個別施策 (主なタスク)	令和7年度のスケジュール			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> • DXビジョン実行プランのモニタリング対象施策の決定と周知(4月) • DXビジョン実行プランの重視案件は4半期単位、所属で取り組む案件を半期でモニタリング ※提出は7・10・1・3月を想定 				